

弥山山頂エリアガイド

獅子岩駅～霊火堂～山頂～大日堂～御山神社～分岐

山頂へ行く方法は2ルート。上りと下りを別ルートで楽しんでみよう。
大日堂の石段下で道に迷う人が多いので、標識をよく確認して行動!
また、干満岩～大日堂ルートの下り口がわかりにくいので要注意。



▲関伽井堂



▲文殊堂・観音堂

ロープウエー
獅子岩駅へ

▲A

あかい
関伽井堂

眺望の良い
ポイント

下りは足を
痛めやすいので
急がずゆっくりと

紅葉谷コース



霊火堂 (D)	2分	大日堂下分岐 (J)	2分	※石段注意!!
大日堂 (I)	5分	大日堂 (I)	2分	※石段注意!!
干満岩 (H)	3分	干満岩 (H)	3分	※石段注意!!
山頂・展望台 (G)	2分	山頂・展望台 (G)	2分	※石段注意!!
くぐり岩 (F)	2分	くぐり岩 (F)	2分	
観音堂・文殊堂 (E)	3分	観音堂・文殊堂 (E)	3分	※石段注意!!
霊火堂 (D)	2分	霊火堂 (D)	2分	※石段注意!!
関伽井堂 (C)	10分	関伽井堂 (C)	10分	
紅葉谷分岐 (B)	5分	紅葉谷分岐 (B)	5分	
ロープウエー・獅子岩駅 (A)		ロープウエー・獅子岩駅 (A)		
大日堂下分岐 (J)	2分	大日堂下分岐 (J)	2分	※石段注意!!
大日堂 (I)	5分	大日堂 (I)	5分	※石段注意!!
干満岩 (H)	3分	干満岩 (H)	3分	※石段注意!!
山頂・展望台 (G)	2分	山頂・展望台 (G)	2分	※石段注意!!
くぐり岩 (F)	2分	くぐり岩 (F)	2分	
観音堂・文殊堂 (E)	3分	観音堂・文殊堂 (E)	3分	※石段注意!!
霊火堂 (D)	2分	霊火堂 (D)	2分	※石段注意!!
関伽井堂 (C)	10分	関伽井堂 (C)	10分	
紅葉谷分岐 (B)	5分	紅葉谷分岐 (B)	5分	
ロープウエー・獅子岩駅 (A)		ロープウエー・獅子岩駅 (A)		
大日堂下分岐 (J)	2分	大日堂下分岐 (J)	2分	※石段注意!!
大日堂 (I)	5分	大日堂 (I)	5分	※石段注意!!
干満岩 (H)	3分	干満岩 (H)	3分	※石段注意!!
山頂・展望台 (G)	2分	山頂・展望台 (G)	2分	※石段注意!!
くぐり岩 (F)	2分	くぐり岩 (F)	2分	
観音堂・文殊堂 (E)	3分	観音堂・文殊堂 (E)	3分	※石段注意!!
霊火堂 (D)	2分	霊火堂 (D)	2分	※石段注意!!
関伽井堂 (C)	10分	関伽井堂 (C)	10分	
紅葉谷分岐 (B)	5分	紅葉谷分岐 (B)	5分	
ロープウエー・獅子岩駅 (A)		ロープウエー・獅子岩駅 (A)		

紅葉谷へ下る

所要時間

※休憩時間は含みません。



大日堂
厳島神社の神護寺だった大日如来を祀るお堂。



弥山本堂
弘法大師が修法の後、開基したと伝えられる。



霊火堂
弘法大師ゆかりの「消えずの火」が1200年間守り継がれている。2009年10月、「恋人の聖地」に認定された。

御山神社



御山神社
厳島神社と同じく、三女神を祀る山上の古社。

大日堂下分岐
分岐注意



くぐり岩
頭の近くに潮吹き穴(?)があいている。



干満岩
穴の水が潮の干満に合わせ上下する不思議岩。

弥山山頂 535m



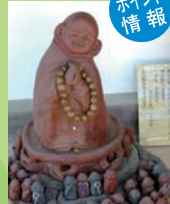
霊火堂・三鬼堂へ
大日堂へ
巨石群が神秘的な景観をつくりだしている山頂。360度のパノラマが広がり、遠くは四国の連山まで見渡せる。瀬戸内海随一のビュースポットだ。

※道の出入口が分かりにくいので注意!

- 大聖院コースの伊藤博文により設置された丁石
- 大元コースの町石
- 紅葉谷コースの丁石
- それ以外の丁石 (町石)

大聖院へ下る

ポイント情報



弥山本堂前には参詣者の願いが込められた「ねがい地蔵」がずらり。

奥の院へ下る
仁王門跡下分岐より 30分

駒ヶ林や大元公園へ下る

大元コース

下りは足を痛めやすいので急がずゆっくりと

分岐注意



奥の院へ行く時は、往復1時間以上かかる。十分時間に余裕を持って行動しよう。

大聖院コース

下りは足を痛めやすいので急がずゆっくりと